

単元名 小数のかけ算やわり算

配当時間 16時間

- 単元の目標 (1) 小数のかけ算やわり算の意味や計算の仕方を理解し、その計算ができる。
 (2) 0.1や0.01の個数に着目して、整数と同様に計算できることを理解し、その計算の仕方を説明できる。
 (3) 既習の計算や小数の意味を振り返って、小数のかけ算やわり算の計算の仕方を考えようとする

標準的な展開例

04040209_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 純小数に整数をかける計算の仕方について考える。[p. 34・p. 35]</p> <p>○ 1両が2mの列車4両分の長さの求め方を考える。</p> <p>○ 1両が0.2mの列車4両分の長さを求める式を考える。 ○ 単元の学習課題をつかむ。 ★ 小数に整数をかける計算のしかたを考えていこう。 ○ 0.2×4の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 0.02×4の計算の仕方を説明する。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 小数に整数をかける計算の仕方について考える。[p. 36]</p> <p>○ 問題文に合う式を考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 整数の計算をもとにして、2.3×6の計算のしかたを考えよう。 ○ 2.3×6の計算の仕方を考える。 ○ 0.23×6の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 (小数) \times (1位数)の筆算の仕方を考える。[p. 37]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 整数のかけ算の筆算のしかたをもとにして、小数のかけ算の筆算のしかたを考えよう。 ○ 2.3×6の筆算の方法を考える。</p> <p>○ 3.5×8を筆算する。</p> <p>○ 0.28×3を筆算する。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>4 (小数) \times (2位数)の筆算の仕方について考える。[p. 38]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 小数に2けたの整数をかける筆算のしかたを考えよう。 ○ 1.2×43の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 2.4×35の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 練習問題に取り組む。[p. 39]</p> <p>○ 「練習」に取り組む。</p>	<p>・ 数量の関係図や整数の計算方法などを利用して、0.1の何個分になるかを考えさせるようにする。</p> <p>・ 列車全体の長さの求め方を、言葉の式にも表させる。</p> <p>・ 言葉の式を使い、数字を当てはめさせる。</p> <p>・ 被乗数が小数であることに注目させる。</p> <p>・ だいちさんの考えは、0.1が何個分かを考えていることに気付かせる。</p> <p>・ ひなたさんの考えは、小数を10倍して整数に直し、積を10でわっていることに気付かせる。</p> <p>・ 0.2×4の計算の仕方を活用させる。 【評】(純小数) \times (1位数)の計算方法を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 数量の関係を線分図に表したり、小数を10倍して整数に戻してから積を求め、その積から考えさせたりするなどして、求める積が小数になることをつかませる。</p> <p>・ 前時の計算の仕方と同様に考えさせる。</p> <p>・ 0.23を何倍すると整数になるのかを考えさせる。</p> <p>【評】小数に整数をかける問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 整数の乗法の筆算の仕方を活用させる。</p> <p>・ 整数の乗法の筆算と同じように書かせ、筆算で求めさせる。前時で求めた数を想起させ、積に小数点を打たせる。</p> <p>・ $3.5 \times 8 = 28.0$の0に斜線を書き、28とさせる。</p> <p>・ 小数点の前に数がないときには、0を書き、0.84とさせる。</p> <p>【評】(小数) \times (1位数)の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 前時の計算の仕方を活用し、乗数が2位数の筆算の仕方を考えさせる。</p> <p>・ 乗数が2位数であることに気付かせる。</p> <p>・ 12×43の計算をするつもりで筆算をさせ、最後に小数点を付けることを確認する。ただし1段目の「36」の3と6の間に小数点を付けないように指導する。</p> <p>・ 積の84.0は、小数点は消さずに、0だけに斜線を書かせる。</p> <p>・ 2.8×70の場合、筆算の1段目を「0」と書くように指導する。「00」と書かせない。</p> <p>【評】(小数) \times (2位数)の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ つまづいている児童には、個別指導を十分に行い、原因を明確にさせる。</p> <p>・ 0.3×12を筆算するとき、1段目は「6」だけ、2段目は「3」だけを書くように指導</p>

- 6 (小数)÷(1位数)で、商が純小数になる計算の仕方について考える。[p.40・p.41]
- 6mのリボンを3人で分けたときの1人分の長さの求め方を考える。
 - 0.6mのリボンを3人で分けたときの1人分の長さを求める式を考える。
 - 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 整数の計算をもとにして、 $0.6 \div 3$ の計算のしかたを考えよう。
 - $0.6 \div 3$ の計算方法を考える。
- $1.5 \div 3$ を計算する。
- $0.12 \div 4$ の計算の仕方を考える。
- 「練習問題」に取り組む。
- 7 (整数)÷(整数)で、商が小数になる計算の仕方について考える。[p.42]
- 2mのひもを4等分したときの1人分の長さを求める式を考える。
 - 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ $2 \div 4$ の計算のしかたを考えよう。
 - $2 \div 4$ の計算の仕方を考える。
- $0.2 \div 5$ の計算の仕方を考える。
- 「練習問題」に取り組む。
- 8 (小数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。[p.43]
- 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 整数の筆算のしかたをもとにして、小数のわり算の筆算のしかたを考えよう。
 - $7.2 \div 3$ の筆算の仕方を考える。
- $37.5 \div 5$ を筆算する。
- 「練習問題」に取り組む。
- 9 (小数)÷(1位数)の商が1より小さくなる筆算の仕方を考える。[p.44]
- 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 商が1より小さくなるわり算の筆算のしかたを考えよう。
 - $4.92 \div 6$ を筆算する。
- $0.329 \div 7$ を筆算する。
- 「練習問題」に取り組む。
- 10 (小数)÷(2位数)の筆算の仕方について考える。[p.45]
- 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 小数を2けたの整数でわるわり算の筆算のしかたを考えよう。
 - $98.7 \div 21$ を筆算する。
- $31.5 \div 45$ を筆算する。
- $2.45 \div 35$ を筆算する。
- 「練習問題」に取り組む。

- する。
- 【評】 小数の乗法の問題に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 線分図などを使い、等分除の意味を十分に理解させる。
 - ・ 1人分の長さの求め方を、言葉の式にも表させる。
 - ・ 言葉の式を使い、数字を当てはめさせる。
- ・ 被除数が小数であることに注目させる。
- ・ だいちさんの考えは、0.1の何個分かを考えていることに気付かせる。また、0.6を10倍して整数に直し、商を10でわる仕方にも気付かせる。
 - ・ $0.6 \div 3$ での考え方を活用させる。
 - ・ $0.6 \div 3$ や $1.5 \div 3$ の計算の仕方を活用させる
- 【評】 計算の仕方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 数量の関係を線分図に表したり、被除数を10倍して商を求め、その商から考えさせたりするなどして、求める商が小数になることをつかませる。
 - ・ $4 \div 2$ にならないように、問題文をきちんと読み取らせる。
 - ・ 除数よりも被除数の方が小さいことを確認する。
 - ・ だいちさんの考えは、2は0.1のいくつ分かを考え、 $2 \div 4$ は、0.1が($20 \div 4$)個分であることに気付かせる。
 - ・ ひなたさんの考えは、2を10倍して被除数を除数より大きな数に直し、商を10でわると $2 \div 4$ の答えが求められることに気付かせる。
 - ・ $2 \div 4$ の計算の仕方を活用させる。
- 【評】 $0.2 \div 5$ の計算の仕方考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 10でわると小数点が1つ左へ移動することに気付かせる。
 - ・ 整数の除法の筆算の仕方を活用させる。
- ・ 整数と同様に計算させる。商の2と4の間に小数点を付けさせる。
 - ・ 商の小数点の位置が、被除数の小数点と同じ位置であることに気付かせる。
- 【評】 小数のわり算の筆算をする活動を通して「知識・技能」を評価する。
- ・ 商が1より小さくなる場合の書き方を知らせる。
- ・ 商は1より小さくなることを見積もらせ、 $492 \div 6$ と同様に筆算させる。
 - ・ 商が立たない1の位や $1/10$ の位には、0を書かせる。また、小数点を打つ位置に気を付けさせる。
- 【評】 商が1より小さくなる筆算をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・ 前時の計算の仕方を活用し、除数が2位数以上の筆算の仕方を考えさせる。
- ・ $987 \div 21$ の計算をするつもりで筆算をさせ、最後に商に小数点を付け忘れないようにすることを確認する。
 - ・ 1の位に商が立たないときは、0.と書くことを確認する。
 - ・ 商が立たない位に0を書いて筆算を進めることを確認する。

11 余りのあるわり算の仕方について考える。[p. 46]

- 本時の学習課題をつかむ。
- ★ あまりの大きさについて考えよう。
- 図を使い、余りの大きさを考える。
- 商が 4，余りが 1.6 になることを確かめる。
- $24.8 \div 4$ の余りの大きさを考える。

- 「練習問題」に取り組む。

12 わり進む筆算の仕方について考える。[p. 47]

- 本時の学習課題をつかむ。
- ★ わり進む筆算のしかたを考えよう。
- $15.6 \div 8$ の筆算の仕方考える。
- $9.4 \div 8$ の筆算をする。
- 「練習問題」に取り組む。

13 商を概数で表す仕方について考える。[p. 48]

- $2 \div 3$ を計算する。
- 本時の学習課題をつかむ。
- ★ 商をがい数で表してみよう。
- $2 \div 3$ の商を、1/10 の位までの概数で表す。
- $2 \div 3$ の商を、上から 2 桁の概数で表す。
- 「練習問題」に取り組む。

14 練習問題に取り組む。[p. 49]

- 「練習」に取り組む。

15 小数倍の意味を理解する。[p. 50・p. 51]

- 白のリボンの何倍が赤のリボンの長さになるのかを考える。
- 本時の学習課題をつかむ。
- ★ 倍を表す数が小数になるときの意味を考えよう。
- 白のリボンの何倍が青のリボンの長さになるのかを考える。
- 水の何倍がお茶の量になるのかを考える。
- 水の何倍がジュースの量になるのかを考える。

16 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 52・p. 53]

- 「たしかめよう」に取り組む。
- 学習の振り返りを書く。

【評】(小数) \div (2 位数) の筆算をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 数量の関係を図に表したり、答えの確かめをしたりして、余りは除数より小さくなっていることに気付かせる。
- ・ $13.6 \div 4$ を筆算し、商の整数値は 4 になることを確認し、余りの大きさを考えさせる。
- ・ 余りを 16 と考える児童には、除数の 3 より大きくなっていることに気付かせる。
- ・ 計算の確かめの式に数を当てはめ、商と余りの関係をつかませる。
- ・ 筆算し、商の整数値は 6 になることを確認し余りの大きさを考えさせる。

【評】余りの大きさを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ 被除数に 0 を付け足していけば、計算を続けることができることに気付かせる。

- ・ 15.6 を 15.60 と考えることで、わり進めることができることに気付かせる。
- ・ わり切れるまで、被除数に 0 を付け足していくことを確認する。
- ・ $50 \div 4$ のような計算では、50.0 と考えることを確認する。

【評】わり切れるまでわり進む筆算をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ わり進んでわり切れないときには、四捨五入をして商を概数で表してもよいことを知らせる。
- ・ 6 が続いてわり切れないことに気付かせる。

- ・ 1/100 の位の数字を四捨五入することを確認する。
- ・ 上から 3 桁目の数字を四捨五入することを確認する。

【評】商を四捨五入して概数で表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ つまづいている児童には、個別指導を十分に行い、原因を明確にさせる。

【評】小数のわり算の問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 数量の関係を図にして表し、割合の考えを活用させる。
- ・ 割合の単元を想起させる。

- ・ 白のリボンの長さを 1 にしたとき、青の長さの割合を考えさせる。
- ・ 水 500mL を 1 にしたとき、お茶 600mL の割合を考えさせる。
- ・ 水 500mL を 1 にしたとき、ジュース 1200mL の割合を考えさせる。

【評】何倍かを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。
- ・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。

【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 小数のかけ算やわり算について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみようなどを書かせる。

【 備 考 】

第 3 学年では、1/10 の位までの小数について、数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かすことを指導してきた。

第 4 学年では、小数が整数と同じ仕組みで表されていることの理解を深めるとともに、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知らせる。また計算については、加法及び減法を指導するとともに、乗法及び除法について、乗数や除数が整数である場合について指導することにより、小数の四則計算の可能性が広がったことを感得させつつ、小数の理解を深めていくことを主なねらいとしている。